

⑭子どもの安心・安全

●子どもの健康観察ポイント

1) おとなの症状に加えて、こんなときは救急車を呼んで!!

119番!

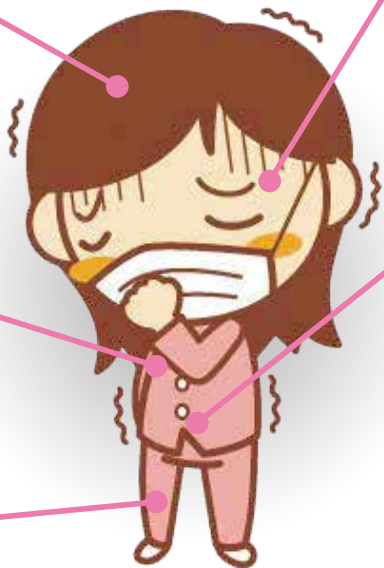
頭

- ・頭を痛がって、けいれんがある
- ・頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

顔

- ・くちびるの色が紫色
- ・顔色が明らかに悪い

子ども(15歳以下)



胸

- ・激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- ・呼吸が弱い

おなか

- ・激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- ・激しいおなかの痛みで苦しがる
- ・嘔吐が止まらない
- ・便に血がまじった

手足

- ・手足が硬直している

○意識の障害○

- ・意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)

○じんましん○

- ・虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

○やけど○

- ・痛みのひどいやけど
- ・広範囲のやけど

○けいれん○

- ・けいれんが止まらない
- ・けいれんが止まっても意識がもどらない

○事故○

- ・交通事故にあつた(強い衝撃を受けた)
- ・水におぼれている
- ・高いところから落ちた

○生れて3か月未満の乳児○

- ・乳児の様子がおかしい

○飲み込み○

- ・物を喉に詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合。

かながわ小児救急ダイヤル(小児救急電話相談事業) #8000

頭

- ・突然の激しい頭痛
- ・突然の高熱
- ・支えなしで立てない
ぐらゐ急にふらつく

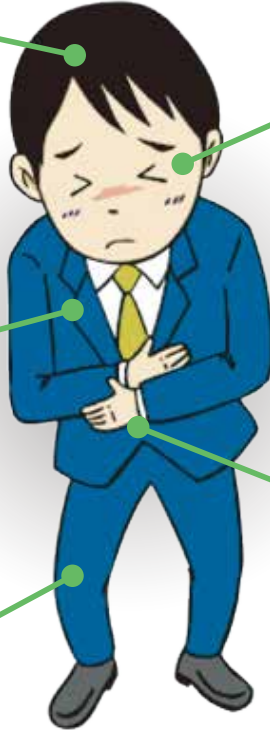
胸

- ・突然の激痛
- ・急な息切れ、呼吸困難
- ・胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- ・痛む場所が移動する

手足

- ・突然のしびれ
- ・突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おとな



顔

- ・顔半分が動きにくい、または、しびれる・こっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ・ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- ・見える範囲が狭くなる
- ・突然、周りが二重に見える
- ・顔色が明らかに悪い

おなか

- ・突然の激しい腹痛
- ・激しい突く痛みが持続する
- ・血を吐く
- ・便に血が混ざる
または、真っ黒い便が出る



救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくとう便利です。

- 保険証
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)

乳幼児の場合は更に

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳びん
- タオル



救急車が来たら、こんなことを伝えてください。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示等)



救急車の呼び方



119番通報をすると、司令塔が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。あわてず、ゆっくりとお答えください。



119番
火事ですか？
救急ですか？

救急です



①救急であることを伝える。

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



住所は
どこですか？

〇〇市
〇丁目〇番地
です



②救急車に来て欲しい住所を伝える。

住所は、必ず市町村名から伝えてください。住所がわからないときは、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えて下さい。



どうしましたか？

子どもが
けいれんを起こし
ています。



③具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。



おいくつ
の方ですか？

3歳です。



④具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



あなたの名前と連絡
先を教えてください。

私の名前は
〇×□美です。
電話番号は…



⑤あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問合せることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

※AEDの場所を聞きましょう。

※ご自宅の近くのAEDの場所を確認しましょう。

○本資料は、緊急度が高い(赤に該当)ことが予測され、すぐに救急車を呼んで欲しい)症状のうち、特に知っていて欲しい症状をまとめています。

○緊急度とは、様々な症状等を赤、黄、緑に分類し、医療機関を受診するための手段と受診する目安を示したものです。

○ここに掲載がない症状等については、救急受診ガイド2014年版(消防庁ホームページ)または川崎市救急受診ガイド(川崎市消防局救急課ホームページ)で御覧ください。左の2次元バーコードを御活用ください。

川崎市救急受診ガイド

検索



赤
黄
黄

「救急車を呼びましょう」

「今すぐに医療機関を受診しましょう」

「医療機関を受診しましょう」

2) 赤ちゃん・子どもを事故から守ろう!

～子どもの事故のほとんどは、未然に防ぐことができます～



子どもの安全チェックリスト



おでかけ

車のとき

- チャイルドシート・ジュニアシートは、正しく取り付けられていますか？
- 短距離の移動でも、必ずチャイルドシートなどを着用していますか？
- 車のなかに子どもだけを残しておくことはありませんか？

自転車のとき

- 子どもを自転車に乗せたまま、その場を離れることはありませんか？
- 子どもにはヘルメットをかぶせていますか？

徒歩・ベビーカーのとき

- ベビーカーの赤ちゃんの様子をこまめに観察していますか？
※とくに夏期はアスファルトの照り返しに注意しましょう。
- 子どもと一緒に歩くときは手をつなぎ、建物側に子どもを歩かせていますか？
- 周囲の人の様子（歩きタバコなど）に注意していますか？

台所・リビング・寝室

- 包丁やはさみなどの刃物は使用したら片付けていますか？
- ポット・炊飯ジャーなどは、子どもの手の届かない場所で使っていますか？
- コンロ上のフライパンや鍋の取っ手は、子どもが触れない方向に向けていますか？
- テーブルクロスを使用していませんか？
※赤ちゃんが引っ張ると、テーブル上の熱い飲み物などが落ちてくる危険があります。
- こたつやホットカーペットで寝かせることはありませんか？
※低温やけど・脱水の心配があります。
- たばこ・灰皿は、子どもの手の届かない場所に置いていますか？
- 赤ちゃんの布団のそばに、顔を覆う危険のあるもの（タオル・ぬいぐるみ・ビニールなど）や、ひものついたもの（おもちゃなど）はありませんか？
- 歯ブラシを口に入れたり、手に持たせたまま歩き回ることはありませんか？

階段・ベランダ・窓

- ベランダや窓の近くに踏み台になるようなものを置いていませんか？
- ドアを開け閉めするときは、子どもの手を挟まないように注意していますか？
- 階段に転落を防止するための対策をしていますか？

お風呂・洗面所

- シャワーや水栓から、いきなり熱い湯が出てくることはありませんか？
- 風呂の残り湯は抜いていますか？（10センチの水でもおぼれることがあります。）
- 洗濯機周辺に踏み台になるものを置いていませんか？

☆異物誤飲・窒息を防ぐ☆

赤ちゃんは興味のあるものを何でも口に入れます。誤飲の危険がある小さなものは、きちんと片付けましょう。また、咀嚼が上手くできない時期は、喉に食べ物を詰まらせやすいので与えるときは形や固さ、大きさに十分注意してください。

<誤飲しやすい家庭内の危険物>

- たばこ ●洗剤類（トイレ用洗剤・かびとり剤・漂白剤など）
- 化粧品 ●防虫剤（しょうのう・ナフタリン）
- 石油製品（灯油・ベンジン） ●ボタン電池
- 農薬（園芸用除草剤など） ●殺虫剤 など

<窒息事故を起こしやすいもの>

- 食 品：●ピーナッツなどの豆類 ●あめ ●餅
 ●こんにゃく ●こんにゃくゼリー
 ●ミニトマト ●きゅうりや人参などの野菜スティック
- 生活用品：●ビニール袋 ●おもちゃの部品 ●硬貨
 ●ねじ ●ボタン ●磁石 など

☆中毒110番 公益財団法人日本中毒情報センター☆

情報提供料：無料

大阪、つくば中毒110番では、化学物質（たばこ・家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しています。

※異物誤飲（プラスチック、石など）や食中毒、慢性中毒、常用量での薬の副作用に関するお問合せには対応していません。

- 大阪 TEL 072-727-2499 (365日24時間対応)
- つくば TEL 029-852-9999 (365日9時～21時対応)
- たばこ専用電話 TEL 072-726-9922
(365日24時間対応、テープによる情報提供)

◆応急処置◆

- 14 子どもの安心・安全
- のどに何かつまった! → 意識を確認
口の中、気管の中の異物を取り除く
 - おぼれた! → 意識を確認⇒心肺蘇生
頭をややそらせて、顔を横向きにして安静に
 - やけどした! → 流水で20分以上冷やす
水ぶくれをなるべく破らないように
 - 転んだ! 落ちた! → 打った部位を冷やす
数日間は注意が必要

■乳児が飲み込んだ場合



- ①胸にまたがらせて頭を下げます。
 - ②軽く握った手で、左右の肩甲骨の間をたたきます。
- ※口の中に指を入れて異物を取ろうとすると、奥に押し込む可能性があるため、行ってはいけません。

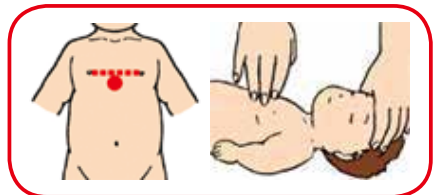
■幼児が飲み込んだ場合



- ①上半身を低くして背中を強くたたきます。
 - または、みぞおちを強く押し上げます。
- ※乳児に対して行ってはいけません。

◆心肺蘇生◆

胸骨圧迫（両方の乳首を結んだ胸の真ん中）を、1分に少なくとも100回絶え間なく行います。
人工呼吸は、胸骨圧迫30回した後、2回です。



3) 乳幼児突然死症候群 (SIDS) を知っていますか?

SIDSとは!!

元気な赤ちゃんが、睡眠中に突然亡くなることをいいます。
発症頻度は、4,000人に1人と言われ、生後2か月から6か月に多く、1歳以上で発症することもあります。原因に関しては、幾つか考えられていますが、未だに解明されていません。

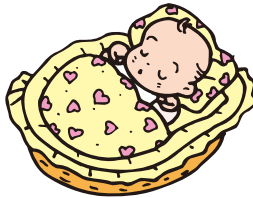
♡♡♡♡♡♡♡♡ <赤ちゃんをSIDSから守る3つのポイント> ♡♡♡♡♡♡♡♡

① うつぶせ寝はやめる。



寝ている時
赤ちゃんを一人にしないで、
こまめに様子を見ましょう。

② 布団の掛け過ぎ、温め過ぎ
に注意する。(敷布団は固
め掛け物は顔にかからな
いようにする。)



③ 家族のたばこはやめる。



床暖房
ホットカーベットも
気を付けて!!

母乳育児が良いとされていますが、
あまり神経質にならずにできる範
囲で母乳もあげましょう。



赤ちゃんは
大人より
暑がりです。

ぐっすり寝ても
こまめに息遣いや
体調の変化を確認
してね。

